

平和を希求する心を育てる取組
報告様式

報告年月日 2021年10月25日

都市名・国 ポルトガル・エボラ

取組の名称	平和はわたしたちの手で創られる
実施主体 (該当項目に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> 学校 (自治体のサポートあり) <input type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ()
テーマ・目的	芸術を通じて世界平和の重要性に関する認識を高める。
対象者 (年齢・学年、人数等)	教師 10 名、陶芸家 2 名、4 歳から 17 歳の児童・生徒約 180 名 (幼稚園児～高校生まで)
実施場所	エボラ - Agrupamento de Escolas Gabriel Pereira
実施期間	作品づくり (陶芸活動) : 2021 年 9 月 20 日～30 日 作品の展示会及び平和首長会議原爆ポスター展 : 2021 年 10 月 4 日～18 日
<p>取組の概要 (授業、イベントはプログラムの次第を、その他 (例: コンテスト等) はそのプロセスを、具体的に記入してください。)</p> <p>教師はこの活動中、成長度合いに応じて各年齢グループに異なる課題を割り当てました。また、陶芸作品を作るワークショップを計画しました。</p> <p>各陶芸ワークショップでは、児童・生徒のグループをさらに 3 つの小グループに分け、2 名の陶芸家と教師が、それぞれの小グループについてサポートしました。児童・生徒たちは各自、ろくろを使って小さな作品づくりに取り組み、土を与えられたテーマである平和の鳩を連想させる形へと変えていきました。児童・生徒たちは最終的に作品を完成させることを目的に、成形や、接着、水漏れ対策、手触りの実感、色付けなどの基本的な陶芸技術を学び、体験しました。</p> <p>スケジュール :</p> <p>9 月 20 日、21 日、22 日 : 陶芸ワークショップ 9 月 22 日～30 日 : ワorkshop で作製した陶芸作品を乾燥させて焼き上げる活動 10 月 1 日 : 陶芸作品の展示会の設営作業 10 月 4 日～18 日 : 陶芸作品の展示会及び平和首長会議原爆ポスター展 (Gabriel Pereira Secondary School での「広島と長崎の原爆」)</p>	
参加者の反応	児童・生徒と教師たちは作品を仕上げられたことだけでなく、地元の陶芸家と交流できたことにとっても満足しました。このプロジェクトは来年以降もテーマを変えて継続していく予定です。
成果	この活動を通じて、当初設定した目標を達成できました。具体的には、以下のとおりです。 - 伝統的な芸術 (陶芸) を自分の手で体験するという機会を与えること。

- 平和の大切さと戦争の危険性について、若い世代の意識を高めること。
- 地域の文化や伝統工芸を児童・生徒たちに触れさせること。活動中、2名の陶芸家は、作品の説明をしたあとで、ろくろで作品を作り、小さい鳩への成形をサポートしました。その一部は伝統的な技法です。

課題

取組で使用した素材について（図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。）

白土、青と黄色の絵の具、透明と不透明な白の粉末釉薬、タイル

上記素材の共有の可否（取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。）

掲載可能（素材を添付してください） 掲載不可 不明

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。



